

平成19年9月14日

ダム守同心情報連絡票(第14号)

この情報連絡票は、灰塚ダムのダム守同心の方々並びに関係者の皆様に三次河川国道事務所灰塚ダム管理支所から灰塚ダム及びハイヅカ湖に関する情報をお届けするものです。

1. 外来魚回収ボックスを設置しました。

ハイヅカ湖へバスフィッシングを楽しむ方に多く訪れていただいています。

貯水池管理の一環として、6月末からバス釣りの利用者をパトロール中にカウントしていますが、休日には平均すると20人前後、多い日には40人を超える釣り人を確認しています。

水温が高くなりすぎて最近は釣果がいまひとつだったようですが、バサーの皆様からは穴場として注目を集めている様です。

ハイヅカ湖は、広島県内水面漁場管理委員会の指示により、平成19年3月26日から外来魚(ブラックバス、ブルーギル)のリリース(再放流)が禁止されています。

釣った後の魚は、食べるなど持ち帰っていただくようお願いしていますが、処分に困るという声も聞いています。

そこで、灰塚ダムでは、リリース禁止の徹底、駆除を促進する取り組みとして、生ゴミ処理機による肥料化を試行していますが、さらに、最も釣り人が利用される「オノ峠広場」に外来魚回収ボックスを9月13日に設置して、回収の試行を開始しました。

その他のゴミが捨てられることも懸念されますが、利用者の方々のご理解とご協力をお願いしながら、この取り組みを推進できればと考えています。



2. コンビニのゴミ箱？

パトロールカーで巡視を行う際にポイ捨てごみを確認した場合には回収等を行っています。

暑さのせいか、ペットボトル飲料などのごみが目に付くようになってきました。

駐車できるスペース周辺にはレジ袋、弁当がら、パンの袋、空き缶などまるでコンビニのゴミ箱をひっくり返したように、同じようなゴミが多くみられます。

数が最も多いのは、タバコの吸殻だと思われます。釣りのしかけの袋、花火なども時々見られています。

地域外から来られた心無い人が捨てた車上ゴミではないかと思われます。

地域一丸となって環境美化に努めている中、悲しいことですが、ダム守同心をはじめ地域のみなさんのご努力により、他の地域に比べればかなりゴミが少ない状況が保たれていると思われています。

灰塚ダム管理支所でも引き続き、パトロール、回収等に努めるとともに、ゴミマップの作成、看板の設置なども実施していきたいと考えています。

3. 本号の最後に

セミの合唱もやみ、管理支所で聞かれる虫の声も少しづつ秋へと向かっていることが感じられるようになってきました。

散策なども心地よくできる季節が近づいています。自然豊かなハイヅカ湖周辺を満喫いただけるように環境保全に努めたいと思います。

先日、震度 5 程度の地震を想定し、地震防災訓練を実施しました。

ダム堤体、貯水池などの安全確認を迅速にできるように訓練を通じて手順等を再確認したところです。

台風 11 号が沖縄に接近していますが、地震、台風などの災害時にも地域のみなさんの生き生きとした暮らしを守るため、適切な対応ができるよう引き続き、心を引き締めて管理にあたりたいと思います。

◇ 問い合わせ等連絡先 ◇

国土交通省 三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所

支所長 今岡 俊和 (imaoka-t87mb@cgr.mlit.go.jp)

事務係長 片山 直行

〒729-4302 広島県三次市三良坂町仁賀1575

電話:0824-44-4360(代) FAX:0824-44-3544